

第1章 研究構想

1 研究の主旨

文部科学省の平成14年度の調査・報告によれば、不登校児童生徒数は約13万1千人(年間30日以上欠席した児童生徒数)で、平成13年度まで年々増加し続けていた数値が28年ぶりにわずかながら減少した。しかし、不登校児童生徒数は平成3年度の2倍近くに達しており、不登校は学校教育上の大きな問題である。

不登校児童生徒への支援の目標は、児童生徒が自らの将来を主体的にとらえ、社会的に自立することであり、学校、家庭、行政機関等はこれまでも様々な取組を続けてきている。しかし、不登校児童生徒に対してより適切な支援を行うには、依然として課題が多いと思われる。私たちはそれらの課題のうち、児童生徒理解や不登校についての認識を高めること、支援に対する共通理解を図ることの重要性に着目した。

そこで、研究の共通テーマを「不登校児童生徒への支援の在り方」とし、所属校を中心とした各自の教育現場に即した小テーマを設け、それぞれの研究を進めることとした。本研究は、教師を始めとする不登校児童生徒にかかわる者が、協働して支援する手だてを提案するものであり、これらの提案により不登校児童生徒への支援が、現状より一歩でも進むことを目指す。

2 研究の方法

- (1) 不登校や教育相談について、文献を中心に調査する。
- (2) 各自の研究テーマに応じて、不登校に関するアンケートや聞き取り調査を行ったり、校内で教育相談研修会を実施したりする。
- (3) (1)、(2)を基に、児童生徒とのかかわり方、校内の支援体制、校内外の連携を考察し、不登校児童生徒に対する望ましい支援の在り方を構想する。

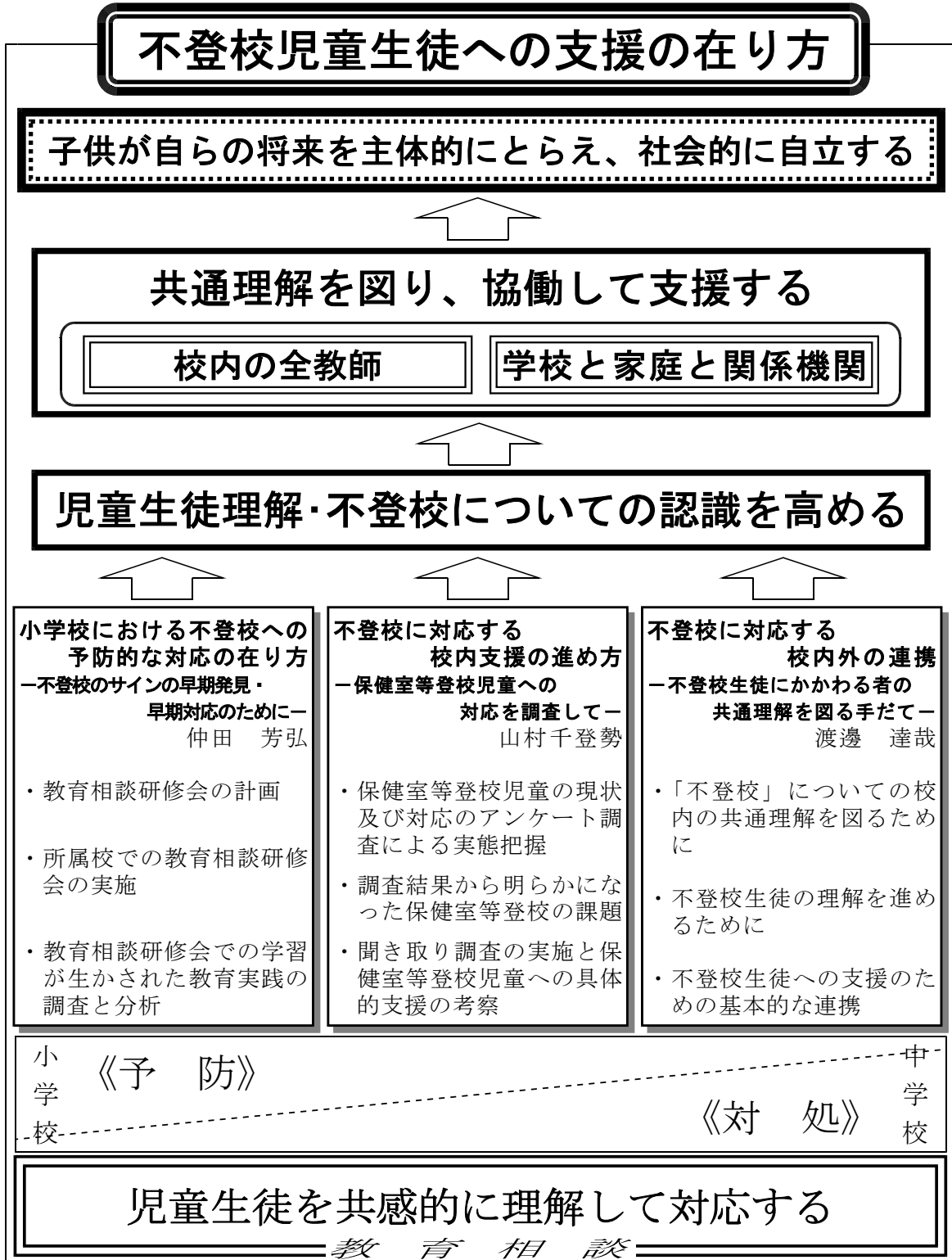
3 研究の経過

| 月 | 研究内容 | 月 | 研究内容 |
|----|---------------------|----|---------------------|
| 45 | ・不登校、教育相談に関する基礎研究 | 11 | ・研究中間報告会 |
| 6 | ・研究テーマ、研究内容の決定 | | ・視察研修（不登校研究校等） |
| 7 | ・個人研究の推進（調査、実践、考察等） | | ・体験研修（あすなろ学習支援室） |
| ） | アンケート、聞き取り調査の実施と分析 | 12 | ・研究のまとめ（研究原稿の作成、検討） |
| 11 | 研究内容に関する資料等の作成 | ） | ・研究報告会準備 |
| | 望ましい支援の在り方の構想 等 | 3 | ・研究報告会 |

4 研究の概要

研究を進めるにあたっては、不登校児童生徒へのかかわり方について義務教育9年間を見通した。小学校では不登校傾向にある児童を含めた早期の段階での予防的な支援と、予防と対処の両方の側面から保健室等登校児童生徒への支援に、進路の問題が中心となる中学校では不登校生徒にかかわる者が協働して行う対処的な支援に視点をあてる。

【研究構想図】



第2章 研究内容

研究内容の構成

第1 小学校における不登校への予防的な対応の在り方

－不登校のサインの早期発見・早期対応のために－

- (1) 教育相談研修会の計画
- (2) 教育相談研修会の実施（第1回～第4回）
 - ・教師の自己理解を深める
 - ・「聴く」ということ
 - ・子供の言動の背景を考える
 - ・不登校に関する理解を深める
 - ・肯定的な見方・かかわり方
- (3) 教育相談研修会での学習が生かされた教育実践の分析
 - ・教師と児童とのかかわり（4事例）から
- (4) 教育相談研修会の考察

第2 不登校に対応する校内支援の進め方

－保健室等登校児童への対応を調査して－

- (1) 保健室等登校児童の現状及び対応の実態把握
 - ・児童数
 - ・タイプ別
 - ・経過
 - ・校内での居場所
 - ・対応内容
 - ・校内での連携
 - ・組織的な対応
 - ・情報の共有
- (2) 保健室等登校の課題
 - ・個別的な支援の在り方
 - ・予防的な支援の在り方
 - ・具体的対応の在り方
 - ・組織的な支援の在り方
- (3) 抽出校への聞き取り調査及び保健室等登校への具体的支援の在り方の考察
 - ・個別的、予防的な支援
 - ・具体的対応
 - ・組織的な支援

第3 不登校に対応する校内外の連携

－不登校生徒にかかわる者の共通理解を図る手だて－

- (1) 「不登校」についての校内の共通理解を図るために
 - ・中学校における不登校理解の現状
 - ・『不登校』の学習資料の作成と提案
- (2) 不登校生徒の理解を進めるために
 - ・F市における不登校生徒の理解の現状
 - ・「個人指導記録簿」の作成及び記録簿の管理と活用
- (3) 不登校生徒への支援のための基本的な連携
 - ・関係者への聞き取り調査
 - ・校内、校外で連携を図る対応例
 - ・連携の基盤にある学級担任の役割
 - ・今後求められる不登校生徒への支援